

みなさまから寄せられているお問合せにつきまして (CoolLaser®(クーレーザー®)について)

たくさんのご関心をお寄せいただきまして大変ありがとうございます。
ご関心、お問合せをいただきながらなかなか個別にお応えができず申し訳ございません。
よくいただくご質問について、以下のとおり回答をまとめさせていただきましたので、この場を借りて公表をさせていただきます。
みなさまのお困りごとを解決するために1日も早い実用化に向けて取り組んでまいりますので、ご理解のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

2018年6月6日

代表取締役 社長 豊澤一晃
代表取締役 副社長 茂見憲治郎

1. 開発状況について

現在、2018年の10月からの本格的な実用化に向けて準備をすすめております。
原理実証は終えており、実橋でのテスト結果に基づく課題対応として、機器の改良のほか周辺設備や工法手順、安全マニュアル等を準備しております。

2. 事業展開の方針について

2. 1 当面の事業方針

弊社は「インフラ老朽化問題」「少子化による現場の担い手の減少」に技術で貢献することを会社のミッションに掲げております。

そして、当ミッションを遂行する上で5つのこだわりを持って取り組んでおりますが、その1つ目に「責任施工」というものを掲げております。

これは、「まずは自分たちで責任をもって使える状況まで工事を請けてやりきり、それができてから普及を図ろう」というものです。

土木の現場で高出力レーザーを本格的に扱う初めての例ですので、システム安全工学の知見を導入し、専門家によるハザード解析等をもとに安全第一で進めております。

作業員の装備や現場の養生も含めた装置・システム、操作時などの作業、そして全体の管理など、多面的な対応をしつつ、ヒヤリ・ハットへの対策・検証を自社内で積み重ねている段階です。

このようにまずは使える段階になるまで自社で責任をもって取り組んでまいります。

2. 2 レンタル/施工体制について

全国で多くのインフラ等において錆で困っている現状があります。

すべてを自社で対応できるとは考えておりません。

しっかり責任をもってご提供できる水準に仕上げたのちには、「レーザークリーニング工法協会」を立ち上げ、一緒に推進いただける企業様に機材をお貸しするとともに工法やノウハウを積極的に開示して普及を図ってまいります。

私たちが直面しているように、当初は使ってみると不具合等発生し、その原因がわか

らず大変困惑することもあると思います。そうした時にレンタルという形でただちに代替機をご用意し、現場の施工期間に極力影響を与えないことを考えています。

2. 3 販売について

レンタルで使っていただきながら、使い方等もしっかり定着し、また私どものサポート体制も整えば、最終的にはメーカーとしての製造責任を負って販売まで踏み切る事も視野に置いております。ただ、現状の開発力を考えますと、販売できる体制が整うまではまだ数年を要すると見込んでおります。

2. 4 海外展開について

このような状況ですので、今後数年間は当社製品・工法を海外に出すことは困難であると考えております。将来的には海外への普及も視野においてはありますが、当面は日本国内の「インフラ老朽化」「担い手減少」といった問題に注力したいと考えております。

海外への普及にお力を貸していただけるみなさまにおかれましては、すぐにお応えをできず申し訳ございませんが当面は見守ってくださいますようお願い申し上げます。

3. 対象物と用途について

レーザー光を吸収させられる付着物（サビや旧塗膜など）は剥離できることを確認できております。光沢のあるアルミやステンレスなど対象物によっては反射光対策など追加対策が必要となるケースがあります。

いずれにしても用途によってショットブラストや電動工具等の他の手法と組み合わせて品質とコストの面で最適な手法を模索する必要があると考えております。

4. サンプルテストについて

有償にてサンプルテスト施工をお請けしております。日程やテスト内容をご調整のうえ、レーザーシステム車にて現地に赴いてテスト施工を実施いたします。

その後の展開については、対象物や用途によって最適な施工方法が異なってくるため、テストと課題出しを繰り返しながらコスト面、品質面等で総合的に妥当な施工方法・施工価格等を協議しながら決め、本施工へと進んでまいります。

開発要素を含むものについてはNDAを締結したうえで受託開発なのか共同開発なのかなど、開発体制を協議して取り組みを進める形をとっております。

5. その他

レーザーによるさび落としは、まだまだこれからの技術であると考えております。

今は人数も少なくできることが限られておりますが、当社としても事業化をすすめて企業体力をつけ、いろいろなお困りごとを解決できるよう、皆様と一緒に取り組んでまいりたいと考えております。

以上